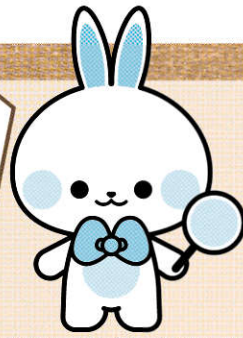


How to read 新聞の歩き方

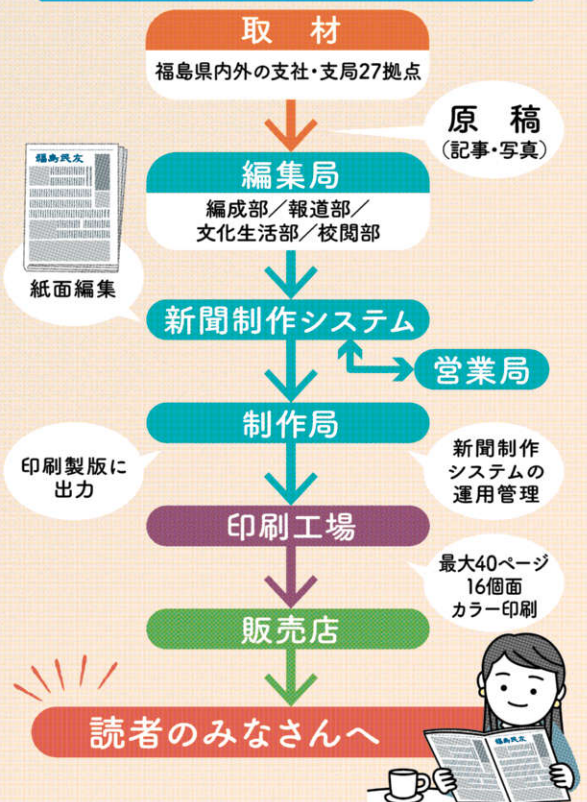
福島民友を
楽しむために



みんなのデジタルアーカイブオリジナルキャラクター
みんゆう・みるもん

新聞を楽しむ読むことは、興味のない記事をとんとん飛ばして、好きな記事から読み始めることです。新聞は20ページ以上あり、文字数が小説1冊分に例えられることもあります。全て読むのは大変な作業です。ではどうしたらいいか？ 野球やサッカーが好きならスポーツ面、事件・事故の情報を知りたいなら社会面の記事をそれぞれ「拾い読み」するのがお勧め。毎日読んでいて、習慣化されて読むスピードが次第に速まり、他の記事も読む余裕が出てきます。時間がないけど、色々な情報が知りたい、という人には、見出しや記事の前文を見る方法があります。要点がまとめられており、効率的に情報が得られます。新聞を読めば世の中の動きが分かり、世界の見え方も変わってきますよ。

福島民友ができるまで



二つの電子新聞

福島民友新聞社は、スマートフォンやタブレット、パソコンから記事を読むことができる二つの電子新聞サービスを提供しています。

■みんゆうプラス
本紙を定期購読されている方ならどなたでも利用可能(同時アクセス数2)。直近7日間の紙面を閲覧できます。追加料金はありませんが、会員登録が必要です。問い合わせ＝読者センター(電話024-523-1230、平日午前10時～午後5時)

■みんゆうデジタルアーカイブ(愛称・みんゆうみるもん)
法人・団体向けの有料サービス。1899年以降の紙面を閲覧できます。小中学校、高校が月額5,500円(同時アクセス数50)、企業、自治体、公共図書館、大学、高専が月額22,000円(同1)。問い合わせ＝事務局(電話024-523-1459、平日午前10時～午後5時)

【著作権表示】

©マークは福島民友新聞社の著作権であることを示しています。

【発行所】

福島民友新聞社が発行所であることを示しています。

【題字】

創刊以来、縦組みでしたが、1997(平成9)年4月1日に横組みを採用。カラー化して親しみやすくなりました。

【号数】

1895(明治28)年5月20日の創刊第1号から、本日まで発行した号数を表示しています。いわば新聞の年齢で、「紙齢」とも呼ばれます。

【版数】

7版、8版、9版の表示があります。数字が大きいほど遅い時間のニュースを盛り込んでいます。

インデックス

紙面の主な内容を紹介しています。写真も使い、見やすい工夫を凝らしています。

写真説明

写真の内容や背景、意図などを説明しています。絵解き(えとぎ)とも呼ばれます。

天気予報

ひと目で県内の天気を把握できます。

【編集日記】

経験豊富で文章力に優れたベテラン記者によるコラム。ニュースや話題などから感じたことを執筆しています。

【ハローキティのニュースを探せ!】

その日の紙面を読むと答えが分かります。答えを探しながら毎朝読んで、頭の体操に役立ててみては。

Pick Up

Smile & Smile / ふくしま子育て応援隊

福島中央テレビと連携した育児に関する企画。子育て世代が感じる大変さ、悩みを深掘りして解決策を探ります。

小学生向けのニュースや時事問題のほか、記事を使ったワークシートなどを毎週火、木、土曜日に掲載しています。

福島が誇る発酵文化に焦点を当て、発酵食品や料理を紹介。ふくしまフレンドCに合わせた掲載しています。

福島をより立てようと頑張っている人たちの生き方を紹介します。12回にわたる連載で、その人の半生に迫ります。

戦争を経験した世代が減少する中、語り継ぐ重要性は増しています。平和な社会の実現を望む県民の思いに迫ります。

REC

見つけて! 福島

動画コンテスト

今年のテーマは「信夫山」

福島市のシンボル「信夫山」の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。動画で表現してみませんか? 現在、作品募集中です。

主催 / 一般財団法人 ふくしま未来研究会

お申込み / 見つけて! 福島 動画コンテスト事務局

お問合せ / mitsukete-fukushima.com 公式WEBサイトからエントリー

Asahi

冷やすほどにキレ冴える、辛口〈生〉

SUPER "DRY"

Asahi 生

スーパードライ

福島民友新聞 創刊130周年、おめでとうございます!

ビールストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。ほどよく、楽しく、いとお酒。のんだあとにはリサイクル。すべては、お客様の「うまい」のために。アサヒビール株式会社

AI時代の今だからこそ新聞を読もう

Q インターネットと紙の新聞の違いは。

- A
- ネットでは検索すると、似たような記事が無数に出てくる。どこまで信じたいかわからないし、リンク先からほかの情報に飛びついてしまう。読んでいるときはたくさん情報を得られたように感じるが、実は記憶にはあまり残らない。
 - 新聞は限られたスペースに端的な文章と写真、図表、解説などが掲載され、何をどこまで読むかはっきりしている。読み手は限られた内容を頭に入れ、意味をよく考え、家族やほかの人と話すことで自分の意見、考えを形成し、言語能力や思考力を刺激するなど、教育面での効果が高い。
 - 新聞は広げると、ひと目でいろいろな記事が目に入る一覧性に優れ、そこから自分が主体的に読みたい記事を読むという行為が認知の力を高めてくれる。
 - ネット上には同じようなデザインの見出しが並ぶが、新聞は記事内容に合わせてデザインを工夫するなど、ネットにはない特徴で存在価値を高めている。



脳の働きに好影響

「なぜ今、新聞なのか」。人工知能(AI)が普及し、インターネット上に本当もうそも入り交じった大量の情報が飛び交う時代に、言語脳科学などを研究する東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授は、新聞が「読む力、考える力を養ってくれる」と断言する。酒井教授に、新聞を読むことが脳の働きにどう影響するか、子どもの教育面でどう効果があるのかなど「AI時代に必要な新聞の力」を聞いた。



きれいにレイアウトされた情報が載った新聞の内容は頭に残りやすい



東京大学大学院総合文化研究科
酒井 邦嘉教授

さかい くによし 1964年東京都生まれ。東京大理学部卒、同大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。同大医学部助手、ハーバード大医学部リサーチフェロー、MIT言語・哲学科客員研究員を経て現職。著書に「言語の脳科学」(中央公論新書)、「脳を創る読書」(実業之日本社)、「デジタル脳クライシス」(朝日新書)など多数。

(2枚のイラスト おだれいこ)

Q 動画が世の中にあふれている。映像や音声と比べ、新聞など文字で情報を得る場合、脳の働きの違いは。

- A
- ニュースなどを解説する動画が増えているが、解説する人物の人となりなど目で見る情報、言葉のイントネーションなどの音声情報など、情報量が多すぎて肝心のニュース内容が頭に残りづらい。
 - 動画は受け身で視聴することになり、思考が停止しやすい。自ら情報を得ようとしなくなり、記憶に定着しにくい。

Q 文章や画像を瞬時に作る生成AIの利用が進んでいる。脳の働きにどう影響するか。

- A
- AIは脳を使わないで済ませる技術。子どもたちは作文を書く時にAIに依存してしまうし、大学生もレポート作成で使った結果、文章力や思考力、そして創造力まで衰えてしまう。
 - AIに何か意見や質問をした場合、否定するものは出てこない。違う意見に触れず、心地よく、自分に都合の良いものばかりで中毒性が生まれ、危険な状況に陥る。
 - 社会には多様な人がいて意見が違ふことを受け入れられなくなる。今、世界中で自国優先主義による分断が生まれているが、AIがそれを加速させるのではないかと危惧している。

Q 生成AIを「賢く使おう」という声をどう思うか。

- A
- AIは脳を使わせないで済ませる技術なので、教育現場にできるだけ持ち込まない方がいい。
 - 例えば言葉で希望するイラストを書いてほしいと指示すると、一見良さそうなものを示してくれる。AIは表面的には優しく友好的に見えるが、相手の心や意図を推理、想定している訳ではなく、対話のまねをしているだけ。
 - 示される答えも出所不明の情報をAIが加工している可能性があり、真偽不明な情報も含んだ答えを出すことにちゅうちょすることもない。まるで人間の言葉を操るモンスターのようだ。

「想像力」「創造力」高まる

Q 新聞を活用すると、子どもの教育にどのような効果があるか。

- A
- 言葉に関する言語力だけでなく、「想像力」と「創造力」が高まる。
 - 新聞を読むことは国語だけでなく、あらゆる教科に通じる力が身につく。社会科であれば物事の背景を読み解く力が身につくし、体育で一流スポーツ選手がトレーニング方法を紹介する記事を読めば、何をすれば自分が上達できるか考えることができる。
 - 子どもたちが、きちんとしたものの考え方を身につけることができる。
 - 子どもたちが、人助けをしたなどの記事を読めば、何が大事か考えてくれて、倫理教育にもつながる。

Q AI時代に必要な新聞が持つ力とは。

- A
- 新聞は、記者が確実な情報を得るために、実際に人に会い、資料を調べ、本当なのか丁寧に裏取りして記事化している。
 - 福島民友新聞など地方紙は、地域の上質な情報を取材して、みんなに読んでほしい記事を書き続けている。その信頼性をもっと多くの人に知ってほしい。
 - 脳を育てるには、脳を徹底的に鍛えることが大事。AIの利用を規制し、新聞や紙の本を読むことから始めてみよう。一つの記事を最初から最後まで読むことからでも、やり抜く力が身につく。



AIに宿題やレポート作成を頼み続けると、自分で考える力が失われます

えがおにタッチ
PROJECT®

in アカチャンホンポ

頑張るママ、パパの素敵なえがおへ エールを贈ろう!

マドレボニータとは

マドレボニータでは、「産後」に特化したヘルスケアプログラムを開発し、子どもを迎えたご家族が心身ともに健やかに人生を送れるようサポートしています。

あなたも
エリエール商品を買って、ママパパを応援しよう

対象期間：2025年4月25日(金)～6月30日(月)

期間中「アカチャンホンポ」にてエリエールブランド商品をご購入いただくと、その売り上げの一部を、子どもを迎えた家族へのサポート活動を行う認定NPO法人「マドレボニータ」へ寄付いたします。

対象商品

GOO.N

のマークが目印

売上の一部を
寄付

思いを込めて
購入

© Disney
© Disney. Based on the "Winnie the Pooh" works by A.A. Milne and E.H. Shepherd.
※掲載商品は一例です。※店舗によって、取り扱いのない商品もございます。

大王製紙株式会社